

愛知県では、中国江蘇省との経済連携協定に基づき、江蘇省に進出している県内企業支援のため、「愛知県江蘇省サポートデスク」を運営しています。

私共、上海納克名南企業管理咨询有限公司が愛知県から業務委託を受け、2023年度の運営業務を担っております。

進出企業の皆様の関心があると思われる内容につき、今年度 8 回目となるメールマガジンを配信させていただきます。

最後までお読みいただければ幸いです。

---

愛知県江蘇省サポートデスク メールマガジン 2023 vol.8

「個人情報の域外移転にかかる要件の大幅緩和？」

---

9 月に開催された意見交換会で個人情報の域外移転について、開澤法律事務所 王弁護士を講師に招き、勉強会を開催したのは記憶に新しいところですが、その内容に関して、現在意見稿が出され、大幅に緩和される動きがあります。まだ確定ではありませんが、最終確定が待たれるところです。本件につき、王弁護士よりレポートの共有を許可頂きましたので、下記にリンクを貼らせていただきます。

開澤法律事務所 レポート「中国における個人情報の越境移転にかかる要件の大幅緩和化？」

<https://mp.weixin.qq.com/s/dcT1oEIPawx3HsrODGxtCA>

この中でも、安全評価の申告、標準契約の締結、個人情報保護認証取得のいずれも不要とされている中に、「ビザ手続きのために個人情報を国外に提供する場合」「1 年間に国外に提供する個人情報が 1 万人に満たないことが見込まれる場合」との記載があります。先日の意見交換会の中でも「こんなことでも個人情報の提供になるの？」としていた、国外出張のビザ取得に伴う個人情報の提供が外されたことや、何より年間で 1 万人を超えない場合も対応不要とされるのであれば、大半の企業は対応が不要になるものと思われます。

11 月末までに対応が必要とされていながら、このタイミングで意見稿が出てくるのは中国あるあるではありますが、引き続き、注視していきたいと思います。

---

次回の意見交換会は 12 月 22 日を予定しております。今回は久しぶりに常州で開催を予定しております。一人でも多くの皆様の参加をお待ちしております。